

にぎやかだった学校南門前の道路(40～50年前)



写真:タイトル: 上坂部みどり園 54・5・31撮影 (尼崎市立地域研究史料館蔵)



昭和55-11-29 尼崎市役所広報課 撮影 バスの前を走るトラックが踏切を渡っているところです。



当時は地下道ではなく、踏切がありました。JR(国鉄)をまたぐバイパス道路もまだなく、

車道が踏切をこえて東西に貫通していました。市バスも運行されていて、今よりもずっと交通量が多くにぎやかでした。尼崎の3つの代表駅(国鉄尼崎・阪急塚口・阪神尼崎)をルートとする3系統は、重要な路線バスで多くの人を利用しました。

3系統 国鉄尼崎—阪急塚口—阪神尼崎 行き



車で混雑する道路 踏切を渡った先に左カーブの標識が見えます



昭和45年広報課撮影 道路を横断して南門から学校に入る子どもたち

写真は登校中の様子です。子どもたちとサポートする交通指導員さんの姿が見受けられます。昭和46年2月には歩道橋が設置されましたが、その後も若王寺交差点で5年間、上坂部踏切で6年間、計11年もの間毎朝7時半～9時半まで立ち番をして下さいました。バイパス道路が完成するまでは、学校の南門付近はこんなににぎわっていたのですね。

